

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-71890

(P2013-71890A)

(43) 公開日 平成25年4月22日(2013.4.22)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 8/37 (2006.01)	A 6 1 K 8/37	4 C 0 8 3
A 6 1 K 8/34 (2006.01)	A 6 1 K 8/34	
A 6 1 K 8/44 (2006.01)	A 6 1 K 8/44	
A 6 1 K 8/49 (2006.01)	A 6 1 K 8/49	
A 6 1 K 8/60 (2006.01)	A 6 1 K 8/60	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 32 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2011-209580 (P2011-209580)	(71) 出願人	511232400 ウォンキソバイオ・カンパニー・リミテッド WONKISO BIO CO., LTD. 大韓民国ソウル特別市廣津区九宜洞631-1
(22) 出願日	平成23年9月26日 (2011.9.26)	(71) 出願人	591119750 岩瀬コスファ株式会社 大阪府大阪市中央区道修町1丁目7番11号
		(74) 代理人	100062144 弁理士 青山 稔
		(74) 代理人	100101454 弁理士 山田 卓二

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 皮膚美白用化粧品

(57) 【要約】

【課題】 安定性が高く、皮膚美白効果に優れた化粧料を提供する。

【解決手段】 2 - エチル - ヘキサン酸 2 - (2 - エチル - ヘキサノイルオキシ) - シクロヘキシルエステルと、ヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L - アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される一種または二種以上の美白成分とを含有する化粧料を提供する。

【選択図】 なし

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

2 - エチル - ヘキサン酸 2 - (2 - エチル - ヘキサノイルオキシ) - シクロヘキシルエステル、ならびにヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L - アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される、一種または二種以上の美白成分を含有する化粧品。

【請求項 2】

一種または二種以上の多価アルコールをさらに含有する、請求項 1 記載の化粧品。

【請求項 3】

多価アルコールが、1, 2 - アルカンジオールおよび 1, 3 - アルカンジオールから選択される、請求項 2 記載の化粧品。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の化粧品の含有成分が、リポソーム、ベシクル、液晶、ミセル、逆ミセル又はそれらの組み合わせである会合構造中に内包される請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化粧品。

【請求項 5】

化粧品が、清浄用化粧品、頭髮用化粧品、基礎化粧品、メイクアップ化粧品、芳香化粧品、日焼け・日焼け止め化粧品、口唇化粧品または入浴化粧品からなる群より選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化粧品。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、安定性の高い皮膚美白用化粧品に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来より、美白皮膚外用剤、例えば、乳液、クリーム、化粧水、パック、洗浄料等の化粧品や医薬部外品、軟膏、分散液、クリーム剤、外用液剤等の外用医薬品には、日焼け等による皮膚の黒化や炎症、色素沈着により生ずるシミ、ソバカス等の現象を防止するために、コウジ酸、グルタチオン、コロイドイオウ、ヒドロキノン、アルブチン、ビタミン C 誘導体、トラネキサム酸等の美白剤が配合されている。

【0003】

特許文献 1 には、美白効果に優れた皮膚外用剤として、パントテン酸またはその誘導体の中から選ばれた少なくとも 1 種と、エラグ酸系化合物またはそのアルカリ金属塩の中から選ばれた少なくとも 1 種とを含有して成る皮膚外用剤が開示されている。また、特許文献 2 には、皮膚美白活性を有する環式化合物が開示されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】特開平 2 - 237906 号公報

【特許文献 2】特表 2009 - 542632 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

本発明は、安定性が高く、皮膚美白効果に優れた化粧料を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明者らは、上記課題を解決すべく鋭意検討した結果、2 - エチル - ヘキサン酸 2 - (2 - エチル - ヘキサノイルオキシ) - シクロヘキシルエステルと、ヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L - アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその

10

20

30

40

50

誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される、一種または二種以上の美白成分を配合することにより皮膚美白効果に著しく優れた美白化粧品を提供可能であることを見出し、本発明を完成するに至った。

【0007】

すなわち、本発明は、

[1] 2-エチル-ヘキサン酸 2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル、ならびにヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L-アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される、一種または二種以上の美白成分を含有する化粧品；

[2] 一種または二種以上の多価アルコールをさらに含有する、[1]記載の化粧品；

[3] 多価アルコールが、1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールから選択される、[2]記載の化粧品；

[4] [1]記載の化粧品の含有成分が、リポソーム、ベシクル、液晶、ミセル、逆ミセルまたはそれらの組み合わせである会合構造中に内包される、[1]～[3]のいずれか記載の化粧品；

[5] 化粧品が、清浄用化粧品、頭髪用化粧品、基礎化粧品、メイクアップ化粧品、芳香化粧品、日焼け・日焼け止め化粧品、口唇化粧品および入浴化粧品からなる群より選択される、[1]～[4]記載のいずれか記載の化粧品；

を提供するものである。

【発明の効果】

【0008】

本発明の化粧品は、優れた皮膚美白効果を示す。

【発明を実施するための形態】

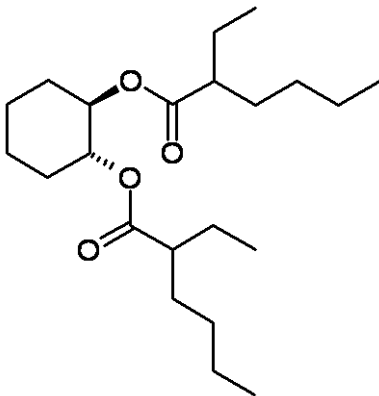
【0009】

本発明の化粧品は、2-エチル-ヘキサン酸 2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルと、他の美白成分、具体的にはヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L-アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される、一種または二種以上の成分を含有する。

【0010】

本発明に用いられる2-エチル-ヘキサン酸 2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルは、式：

【化1】



で表される化合物である。上記化合物はトランス体であるが、シス体またはそれらの混合物であってもよい。

【0011】

本発明の美白成分として用いられるヒドロキノン配糖体またはその誘導体としては、限定されるものではないが、ヒドロキノン、ヒドロキノン-D-グルコース、ハイ

10

20

30

40

50

ドロキノン - D - グルコース、ハイドロキノン - L - グルコース、ハイドロキノン - L - グルコース、ハイドロキノン - D - ガラクトース、ハイドロキノン - D - ガラクトース、ハイドロキノン - L - ガラクトース、ハイドロキノン - L - ガラクトース等の六単糖配糖体、ハイドロキノン - D - リボース、ハイドロキノン - D - リボース、ハイドロキノン - L - リボース、ハイドロキノン - L - リボース、ハイドロキノン - D - アラビノース、ハイドロキノン - D - アラビノース、ハイドロキノン - L - アラビノース、ハイドロキノン - L - アラビノース等の五単糖配糖体、ハイドロキノン - D - グルコサミン、ハイドロキノン - D - グルコサミン、ハイドロキノン - L - グルコサミン、ハイドロキノン - L - グルコサミン、ハイドロキノン - D - ガラクトサミン、ハイドロキノン - D - ガラクトサミン、ハイドロキノン - L - ガラクトサミン、ハイドロキノン - L - ガラクトサミン等のアミノ酸配糖体、ハイドロキノン - D - グルクロン酸、ハイドロキノン - D - グルクロン酸、ハイドロキノン - L - グルクロン酸、ハイドロキノン - L - グルクロン酸、ハイドロキノン - D - ガラクツロン酸、ハイドロキノン - D - ガラクツロン酸、ハイドロキノン - L - ガラクツロン酸、ハイドロキノン - L - ガラクツロン酸等のウロン酸配糖体等、またはそれら配糖体のアセチル化物等のエステル体、メチル化物等のエーテル体等が挙げられる。本発明に用いられるハイドロキノン配糖体またはその誘導体は、ハイドロキノン - D - グルコース（一般名：アルブチン、以後、アルブチンと称する。）が好ましい。

10

【0012】

本発明の美白成分として用いられる L - アスコルビン酸またはその誘導体としては、限定されるものではないが、モノステアリン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸モノステアレート）、モノパルミチン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸モノパルミテート）、モノオレイン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸モノオレート）等の L - アスコルビン酸モノ脂肪酸エステル類；L - アスコルビン酸リン酸エステル、L - アスコルビン酸 - 2 - 硫酸エステル等の L - アスコルビン酸モノエステル類；ジステアリン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸ジステアレート）、ジパルミチン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸ジパルミテート）、ジオレイン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸ジオレート）等の L - アスコルビン酸ジ脂肪酸エステル類；L - アスコルビン酸ジリン酸エステル等の L - アスコルビン酸ジエステル類；トリステアリン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸トリステアレート）、トリパルミチン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸トリパルミテート）、トリオレイン酸アスコルビル（L - アスコルビン酸トリオレート）等の L - アスコルビン酸トリ脂肪酸エステル類；L - アスコルビン酸トリリン酸エステル等の L - アスコルビン酸トリエステル類；テトライソパルミチン酸アスコルビル等の L - アスコルビン酸テトラ脂肪酸エステル等が挙げられる。本発明に用いられる L - アスコルビン酸またはその誘導体は、L - アスコルビン酸、テトライソパルミチン酸アスコルビル、L - アスコルビン酸リン酸エステル、L - アスコルビン酸 - 2 - 硫酸エステルまたはそれらの塩が好ましい。

20

30

【0013】

本発明の美白成分として用いられるレゾルシノールまたはその誘導体としては、限定されるものではないが、炭素数 1 ~ 10 の直鎖、分岐、環状構造のいずれかの置換基、例えば、メチル基、エチル基、n - プロピル基、イソプロピル基、n - ブチル基、イソブチル基、tert - ブチル基、シクロプロピルメチル基、フェニルエチル基で置換されたものが挙げられる。本発明に用いられるレゾルシノールまたはその誘導体は、4 - n - ブチルレゾルシノール、フェニルエチルレゾルシノールが好ましい。さらに、本発明の化粧品で用いることのできる、レゾルシノールの生理的に許容される塩としては、通常化粧品等に使用され、生理的に許容されるものであれば特段の限定は受けないが、ナトリウム、カリウム等のアルカリ金属塩、カルシウム、マグネシウム等のアルカリ土類金属塩、アンモニウム塩、トリエチルアミン、トリエタノールアミン等の有機アミン塩、リジン、アルギニン等の塩基性アミノ酸塩が好ましい。

40

【0014】

50

本発明の美白成分として用いられるトラネキサム酸またはその誘導体としては、限定されるものではないが、トラネキサム酸の二量体（塩酸トランス-4-(トランス-4-アミノメチルシクロヘキサンカルボニル)アミノメチルシクロヘキサンカルボン酸）、トラネキサム酸とヒドロキノンのエステル体（トランス-4-アミノメチルシクロヘキサンカルボン酸4'-ヒドロキシフェニルエステル）、トラネキサム酸とゲンチシン酸のエステル体（2-(トランス-4-アミノメチルシクロヘキシルカルボニルオキシ)-5-ヒドロキシ安息香酸またはその塩）、トラネキサム酸のアミド体（トランス-4-アミノメチルシクロヘキサンカルボン酸メチルアミドまたはその塩、トランス-4-アセチルアミノメチルシクロヘキサンカルボン酸またはその塩、トランス-4-(p-メトキシベンゾイル)アミノメチルシクロヘキサンカルボン酸またはその塩、トランス-4-グアニジノメチルシクロヘキサンカルボン酸またはその塩等）、トラネキサム酸セチルエステル等が挙げられる。

10

【0015】

本発明の化粧品は、2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルと、上記成分の中から選択される一種または二種以上の美白成分を含有する。好ましくは、2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルと、ヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L-アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物から選択される、一種または二種以上の美白成分を含有する。

20

【0016】

本発明に用いられる2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルの配合量、ならびにヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L-アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される少なくとも一種（一種または二種以上）の美白成分の配合量は限定的ではないが、化粧品全量に対して0.001~10.0%、好ましくは0.01~10.0%、特に好ましくは0.1~7.0%である。

【0017】

本発明の化粧品は、さらに多価アルコールを含有していてもよい。本発明に用いられる多価アルコールは、1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールが好ましい。1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールとしては、1,2-ペンタンジオール、1,2-オクタンジオール、1,2-ヘキサジオール、1,2-デカンジオール、1,3-ブチレングリコール、1,3-プロパンジオール、プロピレングリコール等が挙げられる。1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールは、一種または二種以上を併用することができる。1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールは、好ましくは、1,2-ペンタンジオール、1,2-オクタンジオール、1,3-プロパンジオールである。1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールは、化粧品全量に対して0.01~15%含有させることで、本発明の美白効果を一層高めることができる。

30

40

【0018】

本発明の化粧品の剤型は、限定されるものではないが、水中油(O/W)型、油中水(W/O)型、W/O/W型、O/W/O型等の乳化型化粧品、油性化粧品、固形化粧品、液状化粧品、練状化粧品、スティック状化粧品、揮発性油型化粧品、粉状化粧品、ゼリー状化粧品、ジェル状化粧品、ペースト状化粧品、乳化高分子型化粧品、シート状化粧品、ミスト状化粧品、スプレー型化粧品等の種々の化粧品として利用することができる。また、液化石油ガス等の噴射剤と共に用いてエアゾールタイプのものであってもよい。

【0019】

また、2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルを、リポソーム、ベシクル、液晶、ミセル、逆ミセルまたはそれらの組み合

50

わせである会合構造中に内包して化粧品に配合することもできる。この際、ヒドロキノン配糖体またはその誘導体、L-アスコルビン酸またはその誘導体、レゾルシノールまたはその誘導体、トラネキサム酸またはその誘導体、コウジ酸および胎盤抽出物からなる群より選択される一種または二種以上の美白成分の中で油性成分のものを会合体中に同時に配合してもよい。さらに、会合体を含む化粧品中に1,2-アルカンジオールまたは1,3-アルカンジオールから選ばれる一種または二種以上の多価アルコールを併用してもよい。2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステルを会合構造中に内包することで化粧料を皮膚に塗布したときの美白効果を高めることができる。会合体を形成するために必要な界面活性剤を使用してもよい。

【0020】

「リポソーム」とは、水和した、薄いリン脂質膜から形成されるベシクルを意味し、その両親媒性のリン脂質は尾-尾配置で配向し、その親油性頭部は外面または存在する親油性成分の方へ向いて配向して水和層を形成する。そのリン脂質膜は自己閉鎖して、1つの外層のみを有するか、もしくは1つの外層と1つ以上の内層を有するリン脂質ベースのベシクルまたはプリスターを形成する。

【0021】

ベシクルには、大型単一膜ベシクル、多重膜ベシクル、小型単一膜ベシクル等が含まれる。「大型単一膜ベシクル」とは、ベシクルの内容物の周りを自己閉鎖し、直径が約51~1000ナノメートルである、単一の脂質層を有するベシクルを意味する。「多重膜ベシクル」とは、複数の水和層を有し、自己閉鎖し、直径が一般的に約100~1000ナノメートルであるベシクルを意味する。「小型単一膜ベシクル」とは、自己閉鎖する単一の脂質層を有し、直径が一般的に約20~50ナノメートルであるベシクルを意味する。

【0022】

「液晶」とは、典型的な液体に見られる等方性の分子秩序と典型的な固体に見られる分子の構造化した秩序との間にある、液体中の分子秩序の状態を意味する。液晶において、両親媒性成分、ほとんどの場合脂質は、その液体がその液性にも関わらずある程度の分子秩序を示すような頭-頭配置または尾-尾配置で秩序立って並ぶ。活性成分は、液晶の隙間、即ち、配向した分子間に組み込まれ得る。「リオトロピック」とは、液晶に関して、溶媒を加えることによって組成物中で液晶が形成されることを意味する。「ネマチック」とは、液晶に関して、存在する液晶が位置秩序を有していないが、長距離の配向秩序を有している、即ち、液晶が一次元でほぼ平行な配置であることを意味する。ネマチック液晶は、「N」の記号で表される。ネマチック液晶はリオトロピックであってもよい。

【0023】

「ミセル」とは、水中の両親媒性分子の凝集体であり、ミセルは水中油型エマルジョンにおいて生じる場合が多く、その両親媒性分子の親油性部分は分散した油滴の方へ向いて配向し、その分子の極性親水性部分はエマルジョンの連続油相の方へ向いて配向する。

【0024】

「逆ミセル」とは、油中の両親媒性分子の凝集体であり、逆ミセルは油中水型エマルジョンにおいて生じる場合が多く、その両親媒性分子の親水性部分は分散した水滴の方へ向いて配向し、その分子の非極性親油性部分はエマルジョンの連続油相の方へ向いて配向する。

【0025】

本発明の化粧料は、限定されるものではないが、清浄用化粧料、頭髪用化粧料、基礎化粧料、メイクアップ化粧料、芳香化粧料、日焼け・日焼け止め化粧料、口唇化粧料または入浴化粧料として利用することができる。

【0026】

本発明の化粧料は、必要に応じて、通常化粧料に用いられる各種成分および添加剤、例えば、油性基剤、保湿剤、界面活性剤、増粘剤、溶剤・噴射剤、酸化防止剤、還元剤、酸化剤、防腐剤、キレート剤、pH調整剤、粉体類、無機塩類、紫外線吸収剤、ビタミン類、抗炎症剤、血行促進剤、ホルモン類、抗しわ剤、抗老化剤、ひきしめ剤、冷感剤、温感

10

20

30

40

50

剤、創傷治癒促進剤、刺激緩和剤、鎮痛剤、細胞賦活剤、植物・動物・微生物エキス類、鎮痒剤、角質剥離・溶解剤、制汗剤、清涼剤、収れん剤、酵素類、核酸類、香料、色素・着色剤・染料・顔料等を自体公知の方法により適宜配合してもよい。

【0027】

油性基剤としては、セタノール、ミリスチルアルコール、オレイルアルコール、ラウリルアルコール、セトステアリルアルコール、ステアリルアルコール、アラキルアルコール、ベヘニルアルコール、ホホバアルコール、キミルアルコール、セラキルアルコール、パチルアルコール、ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノール、ダイマージオール等の高級アルコール類；ベンジルアルコール等のアラルキルアルコールまたは誘導体；ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、イソステアリン酸、ベヘン酸、ウンデシレン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、パルミトオレイン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレイン酸、エルカ酸、ドコサヘキサエン酸、エイコサペンタエン酸、イソヘキサデカン酸、アンテイソヘンイコサン酸、長鎖分岐脂肪酸、ダイマー酸、水素添加ダイマー酸等の高級脂肪酸類またはそのアルミニウム塩、カルシウム塩、マグネシウム塩、亜鉛塩、カリウム塩、ナトリウム塩等の金属石けん類、またはアミド等の含窒素誘導体類；パラフィン、流動パラフィン、流動イソパラフィン、軽質イソパラフィン、軽質流動イソパラフィン、 α -オレフィンオリゴマー、ポリイソブテン、水添ポリイソブテン、ポリブテン、スクワラン、スクワレン、ワセリン、セレシン、固形パラフィン、マイクロクリスタリンワックス、オゾケライト、プリスタン等の炭化水素類；キャンドリラワックス、カルナウバワックス、ライスワックス、木ろう、みつろう、モンタンワックス、オゾケライト、セレシン、パラフィンワックス、マイクロクリスタリンワックス、ペトロラタム、フィッシュアトロブシュワックス、ポリエチレンワックス、エチレン・プロピレンコポリマー等のワックス類；ヤシ油、パーム油、パーム核油、サフラワー油、オリーブ油、ヒマシ油、アボカド油、ゴマ油、茶油、月見草油、小麦胚芽油、マカデミアナッツ油、ヘーゼルナッツ油、ククイナッツ油、ローズヒップ油、メドウフォーム油、パーシク油、ティートリー油、ハッカ油、トウモロコシ油、ナタネ油、ヒマワリ油、小麦胚芽油、アマニ油、綿実油、大豆油、落花生油、コメヌカ油、カカオ脂、シア脂、水素添加ヤシ油、水素添加ヒマシ油、ホホバ油、水素添加ホホバ油等の植物油脂類；牛脂、乳脂、馬脂、卵黄油、ミンク油、タートル油等の動物性油脂類；鯨ロウ、ラノリン、オレンジラフイー油等の動物性ロウ類；液状ラノリン、還元ラノリン、吸着精製ラノリン、酢酸ラノリン、酢酸液状ラノリン、ヒドロキシラノリン、ポリオキシエチレンラノリン、ラノリン脂肪酸、硬質ラノリン脂肪酸、ラノリンアルコール、酢酸ラノリンアルコール、酢酸（セチル・ラノリル）エステル等のラノリン類；レシチン、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、ホスファチジルセリン、ホスファチジルグリセロール、ホスファチジルイノシトール、スフィンゴミエリン等のスフィンゴリン脂質、ホスファチジン酸、リゾレシチン等のリン脂質類；水素添加大豆リン脂質、部分水素添加大豆リン脂質、水素添加卵黄リン脂質、部分水素添加卵黄リン脂質等のリン脂質誘導体類；サポゲニン類；サポニン類；リン脂質・コレステロール複合体、リン脂質・フィトステロール複合体等の脂質複合体；ミリスチン酸オクチルドデシル、ミリスチン酸ヘキシルデシル、イソステアリン酸オクチルドデシル、パルミチン酸セチル、パルミチン酸オクチルドデシル、オクタン酸セチル（エチルヘキサ酸セチル）、オクタン酸ヘキシルデシル、イソノナン酸イソトリデシル、イソノナン酸イソノニル、イソノナン酸オクチル、イソノナン酸イソトリデシル、ネオペンタン酸イソデシル、ネオペンタン酸イソトリデシル、ネオペンタン酸イソステアリル、ネオデカン酸オクチルドデシル、オレイン酸オレイル、オレイン酸オクチルドデシル、リシノレイン酸オクチルドデシル、ラノリン脂肪酸オクチルドデシル、ジメチルオクタン酸ヘキシルデシル、エルカ酸オクチルドデシル、イソステアリン酸硬化ヒマシ油、オレイン酸エチル、アボカド油脂肪酸エチル、ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、パルミチン酸オクチル、イソステアリン酸イソプロピル、ラノリン脂肪酸イソプロピル、セバシン酸ジエチル、セバチン酸ジイソプロピル、セバチン酸ジオクチル、アジピン酸ジイソプロピル、セバチン酸ジブチルオクチル、アジピン

10

20

30

40

50

酸ジイソブチル、コハク酸ジオクチル等のモノアルコールカルボン酸エステル類；乳酸セチル、リンゴ酸ジイソステアリル、モノイソステアリン酸水添ヒマシ油、クエン酸トリエチル等のオキシ酸エステル類；トリオクタン酸グリセリル、トリオレイン酸グリセリル、トリスステアリン酸グリセリル、ジイソステアリン酸グリセリル、トリ（カプリル酸／カプリン酸）グリセリル、トリ（カプリル酸／カプリン酸／ミリスチン酸／ステアリン酸）グリセリル、水添ロジントリグリセリド（水素添加エステルガム）、ロジントリグリセリド（エステルガム）、ベヘン酸エイコサン二酸グリセリル、トリオクタン酸トリメチロールプロパン、トリスステアリン酸トリメチロールプロパン、ジオクタン酸ネオペンチルグリコール、ジカプリン酸ネオペンチルグリコール、ジオクタン酸2-ブチル-2-エチル-1,3-プロパンジオール、ジオレイン酸プロピレングリコール、テトラオクタン酸ペンタエリスリチル、水素添加ロジンペンタエリスリチル、トリエチルヘキサ酸ジトリメチロールプロパン、（イソステアリン酸／セバシン酸）ジトリメチロールプロパン、トリエチルヘキサ酸ペンタエリスリチル、（ヒドロキシステアリン酸／ステアリン酸／ロジン酸）ジペンタエリスリチル、ジイソステアリン酸ジグリセリル、テトライソステアリン酸ポリグリセリル、ノナイソステアリン酸ポリグリセリル-10、デカ（エルカ酸／イソステアリン酸／リシノレイン酸）ポリグリセリル-8、（ヘキシルデカン酸／セバシン酸）ジグリセリルオリゴエステル、ジステアリン酸グリコール（ジステアリン酸エチレングリコール）、ジネオペンタン酸3-メチル-1,5-ペンタンジオール、ジネオペンタン酸2,4-ジエチル-1,5-ペンタンジオール等の多価アルコール脂肪酸エステル類；ダイマージリノール酸ジイソプロピル、ダイマージリノール酸ジイソステアリル、ダイマージリノール酸ダイマージリノレイル、ジイソステアリン酸ダイマージリノレイル、ダイマージリノレイル水添ロジン縮合物、ダイマージリノール酸硬化ヒマシ油、ヒドロキシアシルダイマージリノレイルエーテル等のダイマー酸若しくはダイマージオールの誘導体；天然型セラミド（タイプ1、2、3、4、5、6）、ヒドロキシセラミド、疑似セラミド、スフィンゴ糖脂質、セラミドまたは糖セラミド含有エキス等のセラミド類；ヤシ油脂肪酸モノエタノールアミド（ココミドMEA）、ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド（ココミドDEA）、ラウリン酸モノエタノールアミド（ラウラミドMEA）、ラウリン酸ジエタノールアミド（ラウラミドDEA）、ラウリン酸モノイソプロパノールアミド（ラウラミドMIPA）、パルミチン酸モノエタノールアミド（パルタミドMEA）、パルミチン酸ジエタノールアミド（パルタミドDEA）、ヤシ油脂肪酸メチルエタノールアミド（ココミドメチルMEA）等の脂肪酸アルカノールアミド類；ジメチコン（メチルポリシロキサン、ジメチルポリシロキサン）、高重合ジメチコン（高重合メチルポリシロキサン）、シクロメチコン（環状ジメチルシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン）、フェニルトリメチコン、ジフェニルジメチコン、フェニルジメチコン（メチルフェニルポリシロキサン）、ステアロキシプロピルジメチルアミン、（アミノエチルアミノプロピルメチコン／ジメチコン）コポリマー、ジメチコノール、ジメチコノールクロスポリマー、シリコーン樹脂、シリコーンゴム、アミノプロピルジメチコンまたはアモジメチコン等のアミノ変性シリコーン、カチオン変性シリコーン、ジメチコンコポリオール等のポリエーテル変性シリコーン、ポリグリセリン変性シリコーン、糖変性シリコーン、カルボン酸変性シリコーン、リン酸変性シリコーン、硫酸変性シリコーン、アルキル変性シリコーン、脂肪酸変性シリコーン、アルキルエーテル変性シリコーン、アミノ酸変性シリコーン、ペプチド変性シリコーン、フッ素変性シリコーン、カチオン変性またはポリエーテル変性シリコーン、アミノ変性またはポリエーテル変性シリコーン、アルキル変性またはポリエーテル変性シリコーン、ポリシロキサン・オキシアルキレン共重合体等のシリコーン類；パーフルオロデカン、パーフルオロオクタン、パーフルオロポリエーテル等のフッ素系油剤類；ジカプリルエーテル等のエーテル類が挙げられる。

【0028】

保湿剤としては、グリセリン、1,3-ブチレングリコール、プロピレングリコール、3-メチル-1,3-ブタンジオール、1,3-プロパンジオール、2-メチル-1,3-プロパンジオール、トリメチロールプロパン、ペンタエリスリトール（ペンタエリトリ

トール、ペンタエリスリット)、ヘキシレングリコール、ジグリセリン、ポリグリセリン、ジエチレングリコール、ポリエチレングリコール(PEG)、ジプロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、エチレングリコール・プロピレングリコール共重合体等のポリオール類またはその重合体;ジエチレングリコールモノエチルエーテル(エトキシジグリコール)、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールジブチルエーテル等のグリコールアルキルエーテル類;(エイコサン二酸/テトラデカン二酸)ポリグリセリル-10、テトラデカン二酸ポリグリセリル-10等の水溶性エステル類;ソルビトール、キシリトール、エリスリトール、マンニトール、マルチトール等の糖アルコール類;グルコース、フルクトース、ガラクトース、マンノース、トレオース、キシロース、アラビノース、フコース、リボース、デオキシリボース、マルトース、トレハロース、ラクトース、ラフィノース、グルコン酸、グルクロン酸、シクロデキストリン類(α-、β-、γ-シクロデキストリン、または、マルチシル化、ヒドロキシアルキル化等の修飾シクロデキストリン)、δ-グルカン、キチン、キトサン、ヘパリンまたは誘導体、ペクチン、アラビノガラクトサン、デキストリン、デキストラン、グリコーゲン、エチルグルコシド、メタクリル酸グルコシルエチル重合物若しくは共重合物等の糖類またはその誘導体;ヒアルロン酸、ヒアルロン酸ナトリウム;コンドロイチン硫酸ナトリウム;ムコイチン硫酸、カロニン硫酸、ケラト硫酸、デルマトン硫酸;シロキクラゲ抽出物、シロキクラゲ多糖体;フコイダン;チューベロース多糖体、天然由来多糖体;クエン酸、酒石酸、乳酸等の有機酸またはその塩;尿素;2-ピロリドン-5-カルボン酸(PCA)またはそのナトリウム等の塩;ベタイン(トリメチルグリシン)、プロリン、ヒドロキシプロリン、アルギニン、リジン、セリン、グリシン、アラニン、フェニルアラニン、チロシン、α-アラニン、スレオニン、グルタミン酸、グルタミン、アスパラギン、アスパラギン酸、システイン、シスチン、メチオニン、ロイシン、イソロイシン、バリン、トリプトファン、ヒスチジン、タウリン等のアミノ酸類またはその塩;コラーゲン、魚由来コラーゲン、アテロコラーゲン、ゼラチン、エラスチン、コラーゲン分解ペプチド、加水分解コラーゲン、塩化ヒドロキシプロビルアンモニウム加水分解コラーゲン、エラスチン分解ペプチド、ケラチン分解ペプチド、加水分解ケラチン、コンキオリン分解ペプチド、加水分解コンキオリン、シルク蛋白分解ペプチド、加水分解シルク、ラウロイル加水分解シルクナトリウム、大豆蛋白分解ペプチド、小麦蛋白分解ペプチド、加水分解小麦蛋白、カゼイン分解ペプチド、アシル化ペプチド等の蛋白ペプチド類またはその誘導体;パルミトイルオリゴペプチド、パルミトイルペンタペプチド、パルミトイルテトラペプチド等のアシル化ペプチド類;シリル化ペプチド類;乳酸菌培養液、酵母抽出液、卵殻膜タンパク、牛顎下腺ムチン、ヒポタウリン、ゴマリグナン配糖体、グルタチオン、アルブミン、乳清;塩化コリン、ホスホリルコリン;胎盤抽出液、エアラスチン、コラーゲン、アロエ抽出物、ハマメリス水、ヘチマ水、カモミラエキス、カンゾウエキス、コンフリーエキス、シルクエキス、イザヨイバラエキス、セイヨウノコギリソウエキス、ユーカリエキス、メリロートエキス等の動物・植物抽出成分、天然型セラミド(タイプ1、2、3、4、5、6)、ヒドロキシセラミド、疑似セラミド、スフィンゴ糖脂質、セラミドまたは糖セラミド含有エキス等のセラミド類が挙げられる。

10

20

30

40

【0029】

界面活性剤としては、陰イオン性界面活性剤、非イオン界面活性剤、陽イオン性界面活性剤、両性界面活性剤、高分子界面活性剤等が挙げられる。界面活性剤のHLBには特に制限はなく、1程度の低いものから20程度の高いものまで使用でき、HLBが低いものと高いものを組み合わせることも好ましい。

【0030】

陰イオン性界面活性剤としては、ラウリン酸カリウム、ミリスチン酸カリウム等の脂肪酸塩;ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸トリエタノールアミン、ラウリル硫酸アンモニウム等のアルキル硫酸エステル塩;ラウレス硫酸ナトリウム、ラウレス硫酸トリエタノールアミン等のポリオキシエチレンアルキル硫酸塩;ココイルメチルタウリンナトリウム、ココイルメチルタウリンカリウム、ラウロイルメチルタウリンナトリウム、ミリスト

50

イルメチルタウリンナトリウム、ラウロイルメチルアラニンナトリウム、ラウロイルサルコシンナトリウム、ラウロイルサルコシントリエタノールアミン、ラウロイルグルタミン酸メチルアラニンナトリウム等のアシルN - メチルアミノ酸塩；ココイルグルタミン酸ナトリウム、ココイルグルタミン酸トリエタノールアミン、ラウロイルグルタミン酸ナトリウム、ミリストイルグルタミン酸ナトリウム、ステアロイルグルタミン酸ナトリウム、パルミトイルアスパラギン酸ジリエタノールアミン、ココイルアラニントリエタノールアミン等のアシルアミノ酸塩；ラウレス酢酸ナトリウム等のポリオキシエチレンアルキルエーテル酢酸塩；ラウロイルモノエタノールアミドコハク酸ナトリウム等のコハク酸エステル塩；脂肪酸アルカノールアミドエーテルカルボン酸塩；アシル乳酸塩；ポリオキシエチレン脂肪アミン硫酸塩；脂肪酸アルカノールアミド硫酸塩；硬化ヤシ油脂肪酸グリセリン硫酸ナトリウム等の脂肪酸グリセリド硫酸塩；アルキルベンゼンポリオキシエチレン硫酸塩； - オレフィンスルホン酸ナトリウム等のオレフィンスルホン酸塩；スルホコハク酸ラウリル2ナトリウム、スルホコハク酸ジオクチルナトリウム等のアルキルスルホコハク酸塩；スルホコハク酸ラウレス2ナトリウム、モノラウロイルモノエタノールアミドポリオキシエチレンスルホコハク酸ナトリウム、ラウリルポリプロピレングリコールスルホコハク酸ナトリウム等のアルキルエーテルスルホコハク酸塩；テトラデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム、テトラデシルベンゼンスルホン酸トリエタノールアミン等のアルキルベンゼンスルホン酸塩；アルキルナフタレンスルホン酸塩；アルカンスルホン酸塩； - スルホ脂肪酸メチルエステル塩；アシルイセチオン酸塩；アルキルグリシジルエーテルスルホン酸塩；アルキルスルホ酢酸塩；ラウレスリン酸ナトリウム、ジラウレスリン酸ナトリウム、トリラウレスリン酸ナトリウム、モノオレスリン酸ナトリウム等のアルキルエーテルリン酸エステル塩；ラウリルリン酸カリウム等のアルキルリン酸エステル塩；カゼインナトリウム；アルキルアリアルエーテルリン酸塩；脂肪酸アミドエーテルリン酸塩；ホスファチジルグリセロール、ホスファチジルイノシトール、ホスファチジン酸等のリン脂質類；カルボン酸変性シリコーン、リン酸変性シリコーン、硫酸変性シリコーン等のシリコーン系陰イオン性界面活性剤等が挙げられる。

10

20

30

40

50

【0031】

非イオン界面活性剤としては、ラウレス（ポリオキシエチレンラウリルエーテル）類、セテス（ポリオキシエチレンセチルエーテル）類、ステアレス（ポリオキシエチレンステアリルエーテル）類、ベヘネス類（ポリオキシエチレンベヘニルエーテル）、イソステアレス（ポリオキシエチレンイソステアリルエーテル）類、オクチルドデセス（ポリオキシエチレンオクチルドデシルエーテル）類等の種々のポリオキシエチレン付加数のポリオキシエチレンアルキルエーテル類；ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル；ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンヒマシ油、モノイソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油（ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油モノイソステアレート）、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油（ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油トリイソステアレート）、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油モノピログルタミン酸モノイソステアリン酸ジエステル、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油マレイン酸等のヒマシ油または硬化ヒマシ油誘導体；ポリオキシエチレンフィトステロール；ポリオキシエチレンコレステロール；ポリオキシエチレンコレスタノール；ポリオキシエチレンラノリン；ポリオキシエチレン還元ラノリン；ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンセチルエーテル、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン2 - デシルテトラデシルエーテル、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンモノブチルエーテル、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン水添ラノリン、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレングリセリンエーテル等のポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンアルキルエーテル；ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレングリコール；PPG - 9ジグリセリル等の（ポリ）グリセリンポリオキシプロピレングリコール；ステアリン酸グリセリル、イソステアリン酸グリセリル、パルミチン酸グリセリル、ミリスチン酸グリセリル、オレイン酸グリセリル、ヤシ油脂肪酸グリセリル、モノ綿実油脂肪酸グリセリン、モノエルカ酸グリセリン、セスキオレイン酸グリセリン、 - オレイン酸ピログルタミン酸グリセリン、モノス

テアリン酸グリセリンリンゴ酸等のグリセリン脂肪酸部分エステル類；ステアリン酸ポリ
 グリセリル - 2、 - 3、 - 4、 - 5、 - 6、 - 8 および - 10、ジステアリン酸ポリグリ
 セリル - 6 および - 10、トリステアリン酸ポリグリセリル - 2、デカステアリン酸ポリ
 グリセリル - 10、イソステアリン酸ポリグリセリル - 2、 - 3、 - 4、 - 5、 - 6、 -
 8 および - 10、ジイソステアリン酸ポリグリセリル - 2（ジイソステアリン酸ジグリセ
 リル）、 - 3 および - 10、トリイソステアリン酸ポリグリセリル - 2、テトライソステ
 アリン酸ポリグリセリル - 2、デカイソステアリン酸ポリグリセリル - 10、オレイン酸
 ポリグリセリル - 2、 - 3、 - 4、 - 5、 - 6、 - 8 および - 10、ジオレイン酸ポリグ
 リセリル - 6、トリオレイン酸ポリグリセリル - 2、デカオレイン酸ポリグリセリル - 1
 0 等のポリグリセリン脂肪酸エステル；モノステアリン酸エチレングリコール等のエチレ
 ングリコールモノ脂肪酸エステル；モノステアリン酸プロピレングリコール等のプロピレ
 ングリコールモノ脂肪酸エステル；ペンタエリスリトール部分脂肪酸エステル；ソルビト
 ール部分脂肪酸エステル；マルチトール部分脂肪酸エステル；マルチトールエーテル；モ
 ノオレイン酸ソルビタン（ソルビタンモノオレエート）、モノイソステアリン酸ソルビタ
 ン（ソルビタンモノイソステアレート）、モノラウリン酸ソルビタン（ソルビタンモノラ
 ウレート）、モノパルミチン酸ソルビタン（ソルビタンモノパルミテート）、モノステア
 リン酸ソルビタン（ソルビタンモノステアレート）、セスキオレイン酸ソルビタン（ソル
 ビタンセスキオレエート）、トリオレイン酸ソルビタン（ソルビタントリオレエート）、
 ペンタ - 2 - エチルヘキシル酸ジグリセロールソルビタン、テトラ - 2 - エチルヘキシル
 酸ジグリセロールソルビタン等のソルビタン脂肪酸エステル；ショ糖脂肪酸エステル、メ
 チルグルコシド脂肪酸エステル、ウンデシレン酸トレハロース等の糖誘導体部分エステル
 ；カプリルグルコシド等のアルキルグルコシド；アルキルポリグリコシド；ラノリンア
 ルコール；還元ラノリン；ジステアリン酸ポリオキシエチレン（ポリオキシエチレンジス
 テアレート）、ジイソステアリン酸ポリオキシエチレン（ポリチレングリコールジイソス
 テアレート）、モノオレイン酸ポリオキシエチレン（ポリオキシエチレンモノオレエート
 ）、ジオレイン酸ポリオキシエチレン（ポリオキシエチレンジオレエート）等のポリオキ
 シエチレン脂肪酸モノまたはジエステル；ジステアリン酸ポリエチレングリコール等のポ
 リオキシエチレン・プロピレングリコール脂肪酸エステル；モノステアリン酸ポリオキシ
 エチレングリセリル（ポリオキシエチレングリセリンモノステアレート）、モノイソステ
 アリン酸ポリオキシエチレングリセリル（ポリオキシエチレングリセリンモノイソステ
 アレート）、トリイソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル（ポリオキシエチレン
 グリセリントリイソステアレート）、モノオレイン酸ポリオキシエチレン（ポリオキシエチ
 レンモノオレエート）等のポリオキシエチレングリセリン脂肪酸エステル；モノオレイン
 酸ポリオキシエチレンソルビタン（ポリオキシエチレンソルビタンモノオレエート）、モ
 ノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン（ポリオキシエチレンソルビタンモノステ
 アレート）、モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン（ポリオキシエチレンソルビ
 タンモノオレエート）、テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン（ポリオキシエチ
 レンソルビタンテトラオレエート）等のポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル；
 モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビトール（ポリオキシエチレンソルビトールモノ
 ラウレート）、モノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビトール（ポリオキシエチレンソ
 ルビトールモノオレエート）、ペンタオレイン酸ポリオキシエチレンソルビトール（ポリ
 オキシエチレンソルビトールペンタオレエート）、モノステアリン酸ポリオキシエチレン
 ソルビトール（ポリオキシエチレンソルビトールモノステアレート）等のポリオキシエチ
 レンソルビトール脂肪酸エステル；ポリオキシエチレンメチルグルコシド脂肪酸エステル
 ；ポリオキシエチレンアルキルエーテル脂肪酸エステル；ポリオキシエチレンソルビト
 ールミツロウ等のポリオキシエチレン動植物油脂類；イソステアリン酸グリセリルエー
 テル類；多価アルコールアルキルエーテル；ポリオキシエチレンアルキルアミン；テトラ
 ポリオキシエチレン・テトラポリオキシプロピレン - エチレンジアミン縮合物類；サポ
 ニン、ソホロリピッド等の天然系界面活性剤；ポリオキシエチレン脂肪酸アミド；ヤシ油脂

10

20

30

40

50

肪酸モノエタノールアミド（ココミドMEA）、ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド（ココミドDEA）、ラウリン酸モノエタノールアミド（ラウラミドMEA）、ラウリン酸ジエタノールアミド（ラウラミドDEA）、ラウリン酸モノイソプロパノールアミド（ラウラミドMIPA）、パルミチン酸モノエタノールアミド（パルタミドMEA）、パルミチン酸ジエタノールアミド（パルタミドDEA）、ヤシ油脂肪酸メチルエタノールアミド（ココミドメチルMEA）等の脂肪酸アルカノールアミド類；ラウラミンオキシド、ココミンオキシド、ステアラミンオキシド、ベヘナミンオキシド等のアルキルジメチルアミンオキシド；アルキルエトキシジメチルアミンオキシド；ポリオキシエチレンアルキルメルカプタン；ジメチコンポリオール等のポリエーテル変性シリコン、ポリシロキサン・オキシアルキレン共重合体、ポリグリセリン変性シリコン、糖変性シリコン等のシリコン系非イオン性界面活性剤等が挙げられる。

10

【0032】

陽イオン性界面活性剤としては、ステアラミドプロピルジメチルアミン、ステアラミドエチルジエチルアミン等の脂肪酸アミドアミンまたはその塩；ステアロキシプロピルジメチルアミン等のアルキルエーテルアミンまたはその塩または四級塩；ポリオキシエチレンアルキルアミンまたはその塩または四級塩；アルキルアミン塩；脂肪酸アミドグアニジウム塩；アルキルエーテルアミンモニウム塩；アルキルトリアルキレングリコールアンモニウム塩；ベンザルコニウム塩；ベンゼトニウム塩；塩化セチルピリジニウム等のピリジニウム塩；イミダゾリニウム塩；アルキルイソキノリニウム塩；ジアルキルモリホニウム塩；ポリアミン脂肪酸誘導体；アミノプロピルジメチコンまたはアモジメチコン等のアミノ変性シリコン、カチオン変性シリコン、カチオン変性またはポリエーテル変性シリコン、アミノ変性またはポリエーテル変性シリコン等のシリコン系陽イオン性界面活性剤等が挙げられる。

20

【0033】

両性界面活性剤としては、ラウリルベタイン（ラウリルジメチルアミノ酢酸ベタイン）等のN-アルキル-N,N-ジメチルアミノ酸ベタイン；ココミドプロピルベタイン、ラウラミドプロピルベタイン等の脂肪酸アミドアルキル-N,N-ジメチルアミノ酸ベタイン；ココアンホ酢酸ナトリウム、ラウロアンホ酢酸ナトリウム等のイミダゾリン型ベタイン；アルキルジメチルタウリン等のアルキルスルホベタイン；アルキルジメチルアミノエタノール硫酸エステル等の硫酸型ベタイン；アルキルジメチルアミノエタノールリン酸エステル等のリン酸型ベタイン；ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、ホスファチジルセリン、スフィンゴミエリン等のスフィンゴリン脂質、リゾレシチン、水素添加大豆リン脂質、部分水素添加大豆リン脂質、水素添加卵黄リン脂質、部分水素添加卵黄リン脂質、水酸化レシチン等のリン脂質類；シリコン系両性界面活性剤等が挙げられる。

30

【0034】

高分子界面活性剤としては、ポリビニルアルコール、アルギン酸ナトリウム、デンプン誘導体、トラガントガム、アクリル酸・メタアクリル酸アルキル共重合体；シリコン系各種界面活性剤が挙げられる。

【0035】

増粘剤としては、グアーガム、カッシアガム、ローカストビーンガム、クィーンスシード、カラギーナン、ガラクトン、アラビアガム、タラガム、タマリンド、ファーセララン、カラヤガム、トロロアオイ、キャラガム、トラガントガム、ペクチン、ペクチン酸またはナトリウム塩等の塩、アルギン酸またはナトリウム塩等の塩、マンナン；コメ、トウモロコシ、パレイショ、コムギ等のデンプン；キサンタンガム、デキストラン、サクシノグルカン、カードラン、ヒアルロン酸またはその塩、ザンサンガム、プルラン、ジェランガム、キチン、キトサン、寒天、カッソウエキス、コンドロイチン硫酸塩、カゼイン、コラーゲン、ゼラチン、アルブミン；メチルセルロース、エチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルボキシメチルセルロースまたはそのナトリウム等の塩、メチルヒドロキシプロピルセルロース、セルロース硫酸ナトリウム、

40

50

ジアルキルジメチルアンモニウム硫酸セルロース、結晶セルロース、セルロース末等のセルロースまたはその誘導体；可溶性デンプン、カルボキシメチルデンプン、メチルヒドロキシプロピルデンプン、メチルデンプン等のデンプン系高分子、塩化ヒドロキシプロピルトリモニウムデンプン、オクテニルコハク酸トウモロコシデンプンアルミニウム等のデンプン誘導体；アルギン酸ナトリウム、アルギン酸プロピレングリコールエステル等アルギン酸誘導体；ポリビニルピドリドン（PVP）、ポリビニルアルコール（PVA）、ビニルピドリドン・ビニルアルコール共重合体、ポリビニルメチルエーテル；ポリエチレングリコール、ポリプロピレングリコール、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレン共重合体；（メタクリロイルオキシエチルカルボキシベタイン/メタクリル酸アルキル）コポリマー、（アクリレーツ/アクリル酸ステアリル/メタクリル酸エチルアミノオキシド）コポリマー等の両性メタクリル酸エステル共重合体；（ジメチコン/ビニルジメチコン）クロスポリマー、（アクリル酸アルキル/ジアセトンアクリルアミド）コポリマー、（アクリル酸アルキル/ジアセトンアクリルアミド）コポリマーAMP；ポリ酢酸ビニル部分けん化物、マレイン酸共重合体；ビニルピロリドン・メタクリル酸ジアルキルアミノアルキル共重合体；アクリル樹脂アルカノールアミン；ポリエステル、水分散性ポリエステル；ポリアクリルアミド；ポリアクリル酸エチル等のポリアクリル酸エステル共重合体、カルボキシビニルポリマー、ポリアクリル酸またはそのナトリウム塩等の塩、アクリル酸・メタアクリル酸エステル共重合体；アクリル酸・メタアクリル酸アルキル共重合体；ポリクオタニウム - 10 等のカチオン化セルロース、ポリクオタニウム - 7 等のジアリルジメチルアンモニウムクロリド・アクリルアミド共重合体、ポリクオタニウム - 22 等のアクリル酸・ジアリルジメチルアンモニウムクロリド共重合体、ポリクオタニウム - 39 等のアクリル酸・ジアリルジメチルアンモニウムクロリド・アクリルアミド共重合体、アクリル酸・カチオン化メタアクリル酸エステル共重合体、アクリル酸・カチオン化メタアクリル酸アミド共重合体、ポリクオタニウム - 47 等のアクリル酸・アクリル酸メチル・塩化メタクリルアミドプロピルトリメチルアンモニウム共重合体、塩化メタクリル酸コリンエステル重合体；カチオン化オリゴ糖、カチオン化カシヤ、カチオン化デキストラン、グアーヒドロキシプロピルトリモニウムクロリド等のカチオン化多糖類；ポリエチレンイミン；カチオンポリマー；ポリクオタニウム - 51 等の2 - メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンの重合体またはメタクリル酸ブチル共重合体等との共重合体；アクリル樹脂エマルジョン、ポリアクリル酸エチルエマルジョン、ポリアクリルアルキルエステルエマルジョン、ポリ酢酸ビニル樹脂エマルジョン、天然ゴムラテックス、合成ラテックス等の高分子エマルジョン；ニトロセルロース；ポリウレタン類または各種共重合体；各種シリコーン類；アクリル - シリコーングラフト共重合体等のシリコーン系各種共重合体；各種フッ素系高分子；12 - ヒドロキシステアリン酸またはその塩；パルミチン酸デキストリン、ミリスチン酸デキストリン等のデキストリン脂肪酸エステル；無水ケイ酸、煙霧状シリカ（超微粒子無水ケイ酸）、ケイ酸アルミニウムマグネシウム、ケイ酸ナトリウムマグネシウム、金属石鹸、ジアルキルリン酸金属塩、ベントナイト、ヘクトライト、有機変性粘土鉱物、ショ糖脂肪酸エステル、フラクトオリゴ糖脂肪酸エステルが挙げられる。

【0036】

溶剤・噴射剤としては、エタノール、2 - プロパノール（イソプロピルアルコール）、ブタノール、イソブチルアルコール等の低級アルコール類；プロピレングリコール、1, 3 - ブチレングリコール、1, 3 - プロパンジオール、ジエチレングリコール、ジプロピレングリコール、イソペンチルジオール等のグリコール類；ジエチレングリコールモノエチルエーテル（エトキシジグリコール）、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、トリエチレングリコールモノエチルエーテル、ジエチレングリコールジエチルエーテル、ジエチレングリコールジブチルエーテル、プロピレングリコールモノエチルエーテル、ジプロピレングリコールモノエチルエーテル等のグリコールエーテル類；エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート、ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート、プロピレングリコールモノエチルエーテルアセテート等のグリコールエーテルエステル類；コハク酸ジエトキシエチル、エチレングリコー

ルジサクシネート等のグリコールエステル類；ベンジルアルコール、ベンジルオキシエタノール、炭酸プロピレン、炭酸ジアルキル、アセトン、酢酸エチル、N - メチルピロリドン；トルエン；フルオロカーボン、次世代フロン；L P G、ジメチルエーテル、炭酸ガス等の噴射剤が挙げられる。

【 0 0 3 7 】

酸化防止剤としては、トコフェロール（ビタミンE）、酢酸トコフェロール等のトコフェロール誘導体；B H T、B H A；没食子酸プロピル等の没食子酸誘導体；ビタミンC（アスコルビン酸）および/またはその誘導体；エリソルビン酸またはその誘導体；亜硫酸ナトリウム等の亜硫酸塩；亜硫酸水素ナトリウム等の亜硫酸水素塩；チオ硫酸ナトリウム等のチオ硫酸塩；メタ亜硫酸水素塩；チオタウリン、ヒポタウリン；チオグリセロール、チオ尿素、チオグリコール酸、システイン塩酸塩が挙げられる。

10

【 0 0 3 8 】

還元剤としては、チオグリコール酸、システイン、システアミン等が挙げられる。

【 0 0 3 9 】

酸化剤としては、過酸化水素水、過硫酸アンモニウム、臭素酸ナトリウム、過炭酸等が好ましいものとして挙げられる。

【 0 0 4 0 】

防腐剤としては、メチルパラベン、エチルパラベン、プロピルパラベン、ブチルパラベン等のヒドロキシ安息香酸またはその塩若しくはそのエステル；サリチル酸；安息香酸ナトリウム；フェノキシエタノール；1, 2 - ペンタンジオール、1, 2 - ヘキサジオール等の1, 2 - ジオール；メチルクロロイソチアゾリノン、メチルイソチアゾリノン等のイソチアゾリノン誘導体；イミダゾリニウムウレア；デヒドロ酢酸またはその塩；フェノール類；トリクロサン等のハロゲン化ビスフェノール類、酸アミド類、四級アンモニウム塩類；トリクロロカルバニド、ジンクピリチオン、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ソルビン酸、クロルヘキシジン、グルコン酸クロルヘキシジン、ハロカルバン、ヘキサクロロフェン、ヒノキチオール；フェノール、イソプロピルフェノール、クレゾール、チモール、パラクロロフェノール、フェニルフェノール、フェニルフェノールナトリウム等のその他フェノール類；フェニルエチルアルコール、感光素類、抗菌性ゼオライト、銀イオンが挙げられる。

20

【 0 0 4 1 】

キレート剤としては、E D T A、E D T A 2 N a、E D T A 3 N a、E D T A 4 N a等のエデト酸塩（エチレンジアミン四酢酸塩）；H E D T A 3 N a等のヒドロキシエチルエチレンジアミン三酢酸塩；ペント酸塩（ジエチレントリアミン五酢酸塩）；フィチン酸；エチドロン酸等のホスホン酸またはそのナトリウム塩等の塩類；シュウ酸ナトリウム；ポリアスパラギン酸、ポリグルタミン酸等のポリポリアミノ酸類；ポリリン酸ナトリウム、メタリン酸ナトリウム、リン酸；クエン酸ナトリウム、クエン酸、アラニン、ジヒドロキシエチルグリシン、グルコン酸、アスコルビン酸、コハク酸、酒石酸が挙げられる。

30

【 0 0 4 2 】

p H調整剤としては、クエン酸、クエン酸ナトリウム、乳酸、乳酸ナトリウム、グリコール酸、コハク酸、酢酸、酢酸ナトリウム、リンゴ酸、酒石酸、フマル酸、リン酸、塩酸、硫酸、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン、イソプロパノールアミン、トリエタノールアミン、2 - アミノ - 2 - メチル - 1, 3 - プロパンジオール、2 - アミノ - 2 - ヒドロキシメチル - 1, 3 - プロパンジオール、アルギニン、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、アンモニア水、炭酸グアニジン、炭酸アンモニウムが挙げられる。

40

【 0 0 4 3 】

粉体類としては、マイカ、タルク、カオリン、セリサイト、モンモリロナイト、カオリナイト、雲母、白雲母、金雲母、合成雲母、紅雲母、黒雲母、パーミキュライト、炭酸マグネシウム、炭酸カルシウム、ケイ酸アルミニウム、ケイ酸バリウム、ケイ酸カルシウム、ケイ酸マグネシウム、ケイ酸ストロンチウム、タングステン酸金属塩、マグネシウム、

50

ゼオライト、硫酸バリウム、焼成硫酸カルシウム、リン酸カルシウム、弗素アパタイト、ヒドロキシアパタイト、セラミックパウダー、ベントナイト、スメクタイト、粘土、泥、金属石鹼(例えば、ミリスチン酸亜鉛、パルミチン酸カルシウム、ステアリン酸アルミニウム)、炭酸カルシウム、ベンガラ、黄酸化鉄、黒酸化鉄、群青、紺青、カーボンブラック、酸化チタン、微粒子または超微粒子酸化チタン、酸化亜鉛、微粒子または超微粒子酸化亜鉛、アルミナ、シリカ、煙霧状シリカ(超微粒子無水ケイ酸)、雲母チタン、魚鱗箔、窒化ホウ素、ホトクロミック顔料、合成フッ素金雲母、微粒子複合粉体、金、アルミニウム等の各種の大きさ・形状の無機粉体、または、これらをハイドロジェンシリコン、環状ハイドロジェンシリコン等のシリコンもしくはその他のシランもしくはチタンカップリング剤等の各種表面処理剤で処理を行って疎水化若しくは親水化した粉体等の無機粉体；デンプン、セルロース、ナイロンパウダー、ポリエチレン末、ポリメタクリル酸メチル末、ポリスチレン末、スチレンとアクリル酸の共重合体樹脂粉末、ポリエステル末、ベンゾグアナミン樹脂粉末、ポリエチレンテレフタレート・ポリメチルメタクリレート積層末、ポリエチレンテレフタレート・アルミニウム・エポキシ積層末等、ウレタン粉末、シリコン粉末、テフロン(登録商標)粉末等の各種の大きさ・形状の有機系粉体または表面処理粉体、有機無機複合粉体が挙げられる。

10

【0044】

無機塩類としては、食塩、並塩、岩塩、海塩、天然塩等の塩化ナトリウム含有塩類；塩化カリウム、塩化アルミニウム、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、にがり、塩化亜鉛、塩化アンモニウム；硫酸ナトリウム、硫酸アルミニウム、硫酸アルミニウム・カリウム(ミョウバン)、硫酸アルミニウム・アンモニウム、硫酸バリウム、硫酸カルシウム、硫酸カリウム、硫酸マグネシウム、硫酸亜鉛、硫酸鉄、硫酸銅；リン酸1Na・2Na・3Na等のリン酸ナトリウム類、リン酸カリウム類、リン酸カルシウム類、リン酸マグネシウム類が挙げられる。

20

【0045】

紫外線吸収剤としては、パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸モノグリセリンエステル、N,N-ジプロポキシパラアミノ安息香酸エチルエステル、N,N-ジエトキシパラアミノ安息香酸エチルエステル、N,N-ジメチルパラアミノ安息香酸エチルエステル、N,N-ジメチルパラアミノ安息香酸ブチルエステル、N,N-ジメチルパラアミノ安息香酸エチルエステル等の安息香酸系紫外線吸収剤；ホモメンチル-N-アセチルアントラニレート等のアントラニル酸系紫外線吸収剤；サリチル酸またはそのナトリウム塩、アミルサリシレート、メンチルサリシレート、ホモメンチルサリシレート、オクチルサリシレート、フェニルサリシレート、ベンジルサリシレート、p-イソプロパノールフェニルサリシレート等のサリチル酸系紫外線吸収剤；オクチルシンナメート、エチル-4-イソプロピルシンナメート、メチル-2,5-ジイソプロピルシンナメート、エチル-2,4-ジイソプロピルシンナメート、メチル-2,4-ジイソプロピルシンナメート、プロピル-p-メトキシシンナメート、イソプロピル-p-メトキシシンナメート、イソアミル-p-メトキシシンナメート、2-エチルヘキシルp-メトキシシンナメート(パラメトキシケイヒ酸オクチル)、2-エトキシエチル-p-メトキシシンナメート(シノキサート)、シクロヘキシル-p-メトキシシンナメート、エチル-シアノ-フェニルシンナメート、2-エチルヘキシル-シアノ-フェニルシンナメート(オクトクリン)、グリセリルモノ-2-エチルヘキサノイル-ジパラメトキシシンナメート、フェルラ酸またはその誘導体等の桂皮酸系紫外線吸収剤；2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、2,2'-ジヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメトキシベンゾフェノン、2,2',4,4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン(オキシベンゾン-3)、2-ヒドロキシ-4-メトキシ-4'-メチルベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸塩、4-フェニルベンゾフェノン、2-エチルヘキシル-4'-フェニル-ベンゾフェノン-2-カルボキシレート、2-ヒドロキシ-4-n-オクトキシベンゾフェノン、4-ヒドロキシ-3-カルボキシベンゾフェノン等のベンゾ

30

40

50

フェノン系紫外線吸収剤；3-(4'-メチルベンジリデン)-d,1-カンファー、3-ベンジリデン-d,1-カンファー；2-フェニル-5-メチルベンゾキサゾール；2,2'-ヒドロキシ-5-メチルフェニルベンゾトリアゾール；2-(2'-ヒドロキシ-5'-メチルフェニル)ベンゾトリアゾール；ジベンザラジン；ジアニソイルメタン；5-(3,3-ジメチル-2-ノルボルニリデン)-3-ペンタン-2-オン；4-t-ブチルメトキシジベンゾイルメタン等のジベンゾイルメタン誘導体；オクチルトリアゾン；ウロカニン酸またはウロカニン酸エチル等のウロカニン酸誘導体；2-(2'-ヒドロキシ-5'-メチルフェニル)ベンゾトリアゾール、1-(3,4-ジメトキシフェニル)-4,4-ジメチル-1,3-ペンタンジオン、ジメトキシベンジリデンジオキソイミダゾリジンプロピオン酸2-エチルヘキシル等のヒダントイン誘導体、フェニルベンズイミダゾールスルホン酸、テレフタリリデンジカンフルスルホン酸、ドロメトリゾールトリシロキサン、アントラニル酸メチル、ルチンまたはその誘導体、オリザノールまたはその誘導体、メチレンビスベンゾトリアゾリルテトラメチルブチルフェノール、ビスエチルヘキシルオキシフェノールメトキシフェニルトリアジンが挙げられる。

【0046】

その他、フェルラ酸またはその誘導体、ブラセンタエキス、グルタチオン、オリザノール、油溶性カモミラエキス、油溶性カンゾウエキス、西河柳エキス、ユキノシタエキス等植物エキスが挙げられる。

【0047】

ビタミン類またはその誘導体としては、レチノール、酢酸レチノール、パルミチン酸レチノール等のビタミンA類；チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩、リボフラビン、酢酸リボフラビン、塩酸ピリドキシン、ピリドキシンジオクタノエート、ピリドキシンジパルミテート、フラビンアデニンジヌクレオチド、シアノコバラミン、葉酸類、ニコチン酸アミド・ニコチン酸ベンジル等のニコチン酸類、コリン類等のビタミンB群類；アスコルビン酸またはそのナトリウム等の塩等のビタミンC類；ビタミンD；、、-トコフェロール等のビタミンE類；パントテン酸、ピオチン等のその他ビタミン類；アスコルビン酸リン酸エステルナトリウム塩またはアスコルビン酸リン酸エステルマグネシウム塩等のアスコルビン酸リン酸エステル塩、テトライソパルミチン酸アスコルビル・ステアリン酸アスコルビル・パルミチン酸アスコルビル・ジパルミチン酸アスコルビル等のアスコルビン酸脂肪酸エステル、アスコルビン酸エチルエーテル等のアスコルビン酸アルキルエーテル、アスコルビン酸-2-グルコシド等のアスコルビン酸グルコシドまたはその脂肪酸エステル、リン酸トコフェリルアスコルビル等のアスコルビン酸誘導体；ニコチン酸トコフェロール、酢酸トコフェロール、リノール酸トコフェロール、フェルラ酸トコフェロール、トコフェロールリン酸エステル等のトコフェロール誘導体等のビタミン誘導体、トコトリエノール、その他各種ビタミン誘導体が挙げられる。

【0048】

抗炎症剤としては、グリチルリチン酸またはその誘導体、グリチルレチン酸誘導体、サリチル酸誘導体、ヒノキチオール、グアイアズレン、アラントイン、インドメタシン、酸化亜鉛、酢酸ヒドロコチゾン、プレドニゾン、塩酸ジフェドラミン、マレイン酸クロールフェニラミン；桃葉エキス、蓬葉エキス等の植物エキスが挙げられる。

【0049】

血行促進剤としては、センブリエキス、トウガラシチンキ、ショウキョウチンキ、ショウキョウエキス、カンタリスチンキ等の植物エキス・チンキ類；カプサイシン、ノニル酸ワレニルアミド、ジンゲロン、イクタモール、タンニン酸、ボルネオール、シクランデレート、シンナリジン、トラゾリン、アセチルコリン、ベラパミル、セファランチン、-オリザノール、セファランチン、ビタミンEまたはニコチン酸トコフェロール・酢酸トコフェロール等の誘導体、-オリザノール、ニコチン酸またはニコチン酸アミド・ニコチン酸ベンジルエステル・イノシトールヘキサニコチネート、ニコチンアルコール等の誘導体、アラントイン、感光素301、感光素401、塩化カプロニウム、ペンタデカン酸モ

10

20

30

40

50

ノグリセリド、フラバノノール誘導体、スチグマステロール又はスチグマスタノールまたはその配糖体、ミノキシジルが挙げられる。

【0050】

ホルモン類としては、エストラジオール、エストロン、エチニルエストラジオール、コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン等が挙げられる。

【0051】

抗しわ剤、抗老化剤、ひきしめ剤、冷感剤、温感剤、創傷治癒促進剤、刺激緩和剤、鎮痛剤、細胞賦活剤等のその他の薬効剤としては、レチノール類、レチノイン酸類、レチノイン酸トコフェリル；乳酸、グリコール酸、グルコン酸、フルーツ酸、サリチル酸またはその配糖体・エステル化物等の誘導体、ヒドロキシカプリン酸、長鎖 - ヒドロキシ脂肪酸、長鎖 - ヒドロキシ脂肪酸コレステリル等の - 又は - ヒドロキシ酸類またはその誘導体類； - アミノ酪酸、 - アミノ - - ヒドロキシ酪酸；カルニチン；カルノシン；クレアチン；セラミド類、スフィンゴシン類；カフェイン、キサントシン等またはその誘導体；コエンザイムQ10、カロチン、リコピン、アスタキサンチン、ルテイン、 - リポ酸、白金ナノコロイド、フラレン類等の抗酸化・活性酸素消去剤；カテキン類；ケルセチン等のフラボン類；イソフラボン類；没食子酸またはエステル糖誘導体；タンニン、セサミン、プロトアントシアニン、クロロゲン酸、リンゴポリフェノール等のポリフェノール類；ルチンまたは配糖体等の誘導体；ヘスペリジンまたは配糖体等の誘導体；リグナン配糖体；グラブリジン、グラブレン、リクイリチン、イソリクイリチン等のカンゾウエキス関連物質；ラクトフェリン；ショウガオール、ジンゲロール；メントール、カンファー、セドロール等の香料物質またはその誘導体；カプサイシン、バニリン等または誘導体；ジエチルトルアミド等の昆虫忌避剤；生理活性物質とシクロデキストリン類との複合体が挙げられる。

10

20

【0052】

植物・動物・微生物エキス類としては、アイリスエキス、アシタバエキス、アスナロエキス、アスパラガスエキス、アボガドエキス、アマチャエキス、アーモンドエキス、アルテアエキス、アルニカエキス、アロエエキス、アンズエキス、アンズ核エキス、イチョウエキス、インチコウエキス、ウイキョウエキス、ウコンエキス、ウーロン茶エキス、ウウルシエキス、エイジツエキス、エチナシ葉エキス、エンメイソウエキス、オウゴンエキス、オウバクエキス、オウレンエキス、オオムギエキス、オタネニンジンエキス、オトギリソウエキス、オドリコソウエキス、オノニスエキス、オランダカラシエキス、オレンジエキス、海水乾燥物、海藻エキス、カキ葉エキス、カキョクエキス、加水分解エラスチン、加水分解コムギ末、加水分解シルク、カッコンエキス、カモミラエキス、油溶性カモミラエキス、カロットエキス、カワラヨモギエキス、カラスムギエキス、カルカデエキス、カンゾウエキス、油溶性カンゾウエキス、キウイエキス、キオウエキス、キクラゲエキス、キナエキス、キューカンパーエキス、キリ葉エキス、グアノシン、グアバエキス、クジンエキス、クチナシエキス、クマザサエキス、クララエキス、クルミエキス、クリエキス、グレープフルーツエキス、クレマティスエキス、黒米エキス、黒砂糖抽出物、黒酢、クロレラエキス、クワエキス、ゲンチアナエキス、ゲンノショウコエキス、紅茶エキス、酵母エキス、コウボクエキス、コーヒーエキス、ゴボウエキス、コメエキス、コメ発酵エキス、コメヌカ発酵エキス、コメ胚芽油、コンフリーエキス、コラーゲン、コケモモエキス、サイシンエキス、サイコエキス、サイタイ抽出液、サフランエキス、サルビアエキス、サボンソウエキス、ササエキス、サンザシエキス、サンシャエキス、サンショウエキス、シタケエキス、ジオウエキス、シコンエキス、シソエキス、シナノキエキス、シモツケソウエキス、ジャトバエキス、シャクヤクエキス、ショウキュウエキス、ショウブ根エキス、シラカバエキス、白キクラゲエキス、スギナエキス、ステビアエキス、ステビア発酵物、西河柳エキス、セイヨウキズタエキス、セイヨウサンザシエキス、セイヨウニワトコエキス、セイヨウノコギリソウエキス、セイヨウハッカエキス、セージエキス、ゼニアオイエキス、センキュウエキス、センブリエキス、ソウハクヒエキス、ダイオウエキス、ダイズエキス、タイソウエキス、タイムエキス、タンポポエキス、地衣類エキス、茶エキス

30

40

50

、チョウジエキス、チガヤエキス、チンピエキス、ティートリー油、甜茶エキス、トウガラシエキス、トウキエキス、トウキンセンカエキス、トウニンエキス、トウヒエキス、ドクダミエキス、トマトエキス、納豆エキス、ニンジンエキス、ニンクエキス、ノバラエキス、ハイビスカスエキス、バクモンドウエキス、ハスエキス、パセリエキス、パーチエキス、蜂蜜、ハマメリスエキス、パリエタリアエキス、ヒキオコシエキス、ピサボロール、ヒノキエキス、ピフィズス菌エキス、ピワエキス、フキタンポポエキス、フキノトウエキス、ブクリョウエキス、ブッチャーブルームエキス、ブドウエキス、ブドウ種子エキス、プロポリス、ヘチマエキス、ベニバナエキス、ペパーミントエキス、ポダイジュエキス、ポタンエキス、ホップエキス、マイカイカエキス、マツエキス、マロニエエキス、ミズバショウエキス、ムクロジエキス、メリッサエキス、モズクエキス、モモエキス、ヤグルマギクエキス、ユーカリエキス、ユキノシタエキス、ユズエキス、ユリエキス、ヨクイニンエキス、ヨモギエキス、ラベンダーエキス、緑茶エキス、卵殻膜エキス、リンゴエキス、ルイボス茶エキス、レイシエキス、レタスエキス、レモンエキス、レンギョウエキス、レンゲソウエキス、ローズエキス、ローズマリーエキス、ローマカミツレエキス、ローヤルゼリーエキス、ワレモコウエキス等のエキスが挙げられる。

【0053】

鎮痒剤としては、塩酸ジフェンヒドラミン、マレイン酸クロルフェニラミン、カンファール、サブスタンス-P阻害剤等が挙げられる。

【0054】

角質剥離・溶解剤としては、サリチル酸、イオウ、レゾルシン、硫化セレン、ピリドキシン等を例示することができる。

【0055】

制汗剤としては、クロルヒドロキシアルミニウム、塩化アルミニウム、酸化亜鉛、パラフェノールスルホン酸亜鉛等が挙げられる。

【0056】

清涼剤としては、メントール、サリチル酸メチル等が挙げられる。

【0057】

収れん剤としては、クエン酸、酒石酸、乳酸、硫酸アルミニウム・カリウム、タンニン酸等が挙げられる。

【0058】

酵素類としては、スーパーオキシドディスムターゼ、カタラーゼ、塩化リゾチーム、リパーゼ、パパイン、パンクレアチン、プロテアーゼ等が挙げられる。

【0059】

核酸類としては、リボ核酸またはその塩、デオキシリボ核酸またはその塩、アデノシン三リン酸二ナトリウムが挙げられる。

【0060】

香料としては、アセチルセドレン、アミルシンナムアルデヒド、アリルアミルグリコレート、 α -イオノン、イソイースーパー、イソブチルキノリン、イリス油、イロン、インドール、イランイラン油、ウンデカナール、ウンデセナール、 γ -ウンデカラクトン、エストラゴール、オイゲノール、オークモス、オポボナックスレジノイド、オレンジ油、オイゲノール、オーランチオール、ガラクソリッド、カルバクロール、L-カルボン、カンファー、キャノン、キャロットシード油、クローブ油、ケイヒ酸メチル、ゲラニオール、ゲラニルニトリル、酢酸イソボルニル、酢酸ゲラニル、酢酸ジメチルベンジルカルビニル、酢酸スチラリル、酢酸セドリル、酢酸テレピネル、酢酸p-t-ブチルシクロヘキシル、酢酸ベチベリル、酢酸ベンジル、酢酸リナリル、サリチル酸イソペンチル、サリチル酸ベンジル、サンダルウッド油、サンタロール、シクラメンアルデヒド、シクロペンタデカノリド、ジヒドロジャスモン酸メチル、ジヒドロミルセノール、ジャスミンアブソリュート、ジャスミンラクトン、cis-ジャスモン、シトラール、シトロネノール、シトロネラール、シナモンパーク油、1,8-シネオール、シンナムアルデヒド、スチラックスレジノイド、セダーウッド油、セドレン、セドロール、セロリシード油、タイム油、ダマスコン、ダ

10

20

30

40

50

マセノン、チモール、チュベローズアブソリュート、デカナール、デカラクトン、テルピネオール、
 -テルピネン、トリプラー、ネロール、ノナナール、2,6-ノナジエノール、ノナラクトン、パチョリアルコール、バニラアブソリュート、バニリン、バジル油、パチョリ油、ヒドロキシシトロネラル、
 -ピネン、ピペリトン、フェネチルアルコール、フェニルアセトアルデヒド、プチグレン油、ヘキシルシンナムアルデヒド、cis-3-ヘキセノール、ペルーバルサム、ベチパー油、ベチペロール、ペパーミント油、ペパー油、ヘリオトロピン、ベルガモット油、ベンジルベンゾエート、ボルネオール、ミルレジノイド、ムスクエトン、メチルノニルアセトアルデヒド、
 -メチルヨノン、メントール、L-メントール、L-メントン、ユーカリ油、
 -ヨノン、ライム油、ラベンダー油、D-リモネン、リナロール、リラル、リリアール、レモン油、ローズアブソリュート、ローズオキシド、ローズ油、ローズマリー油、各種精油等の合成香料または天然香料並びに各種調合香料が挙げられる。

10

【0061】

色素・着色剤・染料・顔料としては、褐色201号、黒色401号、紫色201号、紫色401号、青色1号、青色2号、青色201号、青色202号、青色203号、青色204号、青色205号、青色403号、青色404号、緑色201号、緑色202号、緑色204号、緑色205号、緑色3号、緑色401号、緑色402号、赤色102号、赤色104-1号、赤色105-1号、赤色106号、赤色2号、赤色201号、赤色202号、赤色203号、赤色204号、赤色205号、赤色206号、赤色207号、赤色208号、赤色213号、赤色214号、赤色215号、赤色218号、赤色219号、
 赤色220号、赤色221号、赤色223号、赤色225号、赤色226号、赤色227号、赤色228号、赤色230-1号、赤色230-2号、赤色231号、赤色232号、赤色3号、赤色401号、赤色404号、赤色405号、赤色501号、赤色502号、赤色503号、赤色504号、赤色505号、赤色506号、橙色201号、橙色203号、橙色204号、橙色205号、橙色206号、橙色207号、橙色401号、橙色402号、橙色403号、黄色201号、黄色202-1号、黄色202-2号、黄色203号、黄色204号、黄色205号、黄色4号、黄色401号、黄色402号、黄色403-1号、黄色404号、黄色405号、黄色406号、黄色407号、黄色5号等の法定色素；Acid Red 14等のその他酸性染料；Arianor Sienna Brown、Arianor Madder Red、Arianor Steel Blue、Arianor Straw Yellow等の塩基染料；HC Yellow 2、HC Yellow 5、HC Red 3、4-ヒドロキシプロピルアミノ-3-ニトロフェノール、N,N'-ビス(2-ヒドロキシエチル)-2-ニトロ-p-フェニレンジアミン、HC Blue 2、Basic Blue 26等のニトロ染料；分散染料；二酸化チタン、酸化亜鉛等の無機白色顔料；酸化鉄(ベンガラ)、チタン酸鉄等の無機赤色系顔料；
 -酸化鉄等の無機褐色系顔料；黄酸化鉄、黄土等の無機黄色系顔料；黒酸化鉄、低次酸化チタン等の無機黒色系顔料；マンゴバイオレット、コバルトバイオレット等の無機紫色系顔料；酸化クロム、水酸化クロム、チタン酸コバルト等の無機緑色系顔料；群青、紺青等の無機青色系顔料；酸化チタンコーテッドマイカ、酸化チタンコーテッドオキシ塩化ビスマス、酸化チタンコーテッドタルク、着色酸化チタンコーテッドマイカ、オキシ塩化ビスマス、魚鱗箔等のパール顔料；アルミニウムパウダー、銅パウダー、金等の金属粉末顔料；表面処理無機または金属粉末顔料；赤色201号、赤色202号、赤色204号、赤色205号、赤色220号、赤色226号、赤色228号、赤色405号、橙色203号、橙色204号、黄色205号、黄色401号、青色404号、赤色3号、赤色104号、赤色106号、赤色227号、赤色230号、赤色401号、赤色505号、橙色205号、黄色4号、黄色5号、黄色202号、黄色203号、緑色3号、青色1号等のジルコニウム、バリウム又はアルミニウムレーキ等の有機顔料；表面処理有機顔料；アスタキサンチン、アリザリン等のアントラキノン類、アントシアニジン、
 -カロチン、カテナール、カプサンチン、カルコン、カルサミン、クエルセチン、クロシン、クロロフィル、クルクミン、コチニール、シコニン等のナフトキノロン類、ピキシン、フラボン類、ベタシアニジン、ヘナ、ヘモグロビン、リコピン、リボフラビン、ルチン等の天然色素・染料；p-フェニレンジアミン、トルエン-2,5-ジアミン、

20

30

40

50

o - , m - , 若しくは p - アミノフェノール、m - フェニレンジアミン、5 - アミノ - 2 - メチルフェノール、レゾルシン、1 - ナフトール、2 , 6 - ジアミノピリジン等またはその塩等の酸化染料中間体またはカップラー ; インドリン等の自動酸化型染料 ; ジヒドロキシアセトンが挙げられる。

【 0 0 6 2 】

本発明の化粧品は、必要に応じて、水を配合してもよい。水としては、常水、精製水、硬水、軟水、天然水、海洋深層水、電解アルカリイオン水、電解酸性イオン水、イオン水、クラスター水が挙げられる。

【 0 0 6 3 】

これらの他、化粧品原料基準、化粧品種別配合成分規格、日本化粧品工業連合会成分表示名称リスト、I N C I 辞書 (The International Cosmetic Ingredient Dictionary and Handbook)、医薬部外品原料規格、日本薬局方、医薬品添加物規格、食品添加物公定書等に記載されている成分、及び、国際特許分類 I P C が A 6 1 K 7 及び A 6 1 K 8 の分類に属する日本国及び諸外国特許公報及び特許公開公報 (公表公報・再公表を含む) に記載されている成分等、公知の化粧品成分、医薬品成分、食品成分等を、公知の組み合わせ及び配合比・配合量で含有させることが可能である。

10

【 0 0 6 4 】

上記成分を用いて調製された化粧品を使用するには、例えば適量を手に取り、皮膚に塗布する。

【 0 0 6 5 】

本発明の化粧品は、通常の方法によって製造することができ、例えば、基礎化粧品、薬用化粧品、外用医薬基剤等として適用することができる。

20

【 実施例 】

【 0 0 6 6 】

本発明を実施例および比較例を挙げてさらに詳しく説明するが、本発明はこれら実施例に限定されるものではない。配合量はすべて化粧品全量に対する重量%である。

【 0 0 6 7 】

常法により、表 1 および表 2 に示す実施例 1 ~ 1 0 および比較例 1 ~ 1 0 を配合した表 3 に示す組成のローションを調製した。そのローションを用いて、美白効果を検証した。

【 表 1 】

30

	実施例									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.001	0.001	0.500	0.500	2.000	2.000	7.000	7.000	10.000	10.000
アルブチン	0.001	0.001	-	-	3.000	3.000	-	5.000	-	-
フェニルエチルレゾルシノール	-	-	0.500	0.500	-	-	1.000	-	0.300	0.300
1,3-プロパンジオール	-	3.000	-	-	-	5.000	-	-	-	-
1,2-ペンタンジオール	-	-	-	5.000	-	-	-	-	-	3.000

【 表 2 】

40

	比較例									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.001	-	0.001	-	-	-	-	-	-	-
アルブチン	-	0.001	-	-	-	3.000	3.000	-	5.000	-
フェニルエチルレゾルシノール	-	-	-	0.500	0.500	-	-	1.000	-	0.300
1,3-プロパンジオール	-	-	3.000	-	-	-	5.000	-	-	-
1,2-ペンタンジオール	-	-	-	-	5.000	-	-	-	-	3.000

【表 3】

成分名	重量%
実施例1～10(または比較例1～10)	
ジプロピレングリコール	3.0
グリセリン	1.0
防腐剤	適量
ポリオキシエチレン(60)硬化ヒマシ油	5.0
精製水	残余

【0068】

10

試験例1(美白効果の試験方法)

美白効果は、累積塗布による皮膚に対する色白効果、シミ、ソバカスの解消等の使用テストから判定した。色黒、シミ、ソバカス等に悩む被試験者(20名/群)に対して、実施例1～10および比較例1～10の試験用ローションを朝夕、2ヶ月間、毎日顔面に塗布した。2ヶ月後、被試験者の美白効果を、以下の評価基準1および2に従い皮膚科専門医が評価した。その結果を表4および5に示す。

【0069】

評価基準1:

著効:色素沈着がほとんど目立たなくなった。

有効:非常にうすくなった。

やや有効:ややうすくなった。

無効:変化なし。

20

【0070】

評価基準2:

:被試験者のうち、著効、有効の示す割合が75%以上の場合

:被試験者のうち、著効、有効の示す割合が50%以上75%未満の場合

:被試験者のうち、著効、有効の示す割合が25%以上50%未満の場合

x:被試験者のうち、著効、有効の示す割合が25%未満の場合

【0071】

【表 4】

30

	実施例									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.001	0.001	0.500	0.500	2.000	2.000	7.000	7.000	10.000	10.000
アルブチン	0.001	0.001	-	-	3.000	3.000	-	5.000	-	-
フェニルエチルレゾルシノール	-	-	0.500	0.500	-	-	1.000	-	0.300	0.300
1,3-プロパンジオール	-	3.000	-	-	-	5.000	-	-	-	-
1,2-ペンタンジオール	-	-	-	5.000	-	-	-	-	-	3.000
美白効果	△	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎

40

【表 5】

	比較例									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)シクロヘキシルエステル	0.001	-	0.001	-	-	-	-	-	-	-
アルブチン	-	0.001	-	-	-	3.000	3.000	-	5.000	-
フェニルエチルレゾルシノール	-	-	-	0.500	0.500	-	-	1.000	-	0.300
1,3-プロパンジオール	-	-	3.000	-	-	-	5.000	-	-	-
1,2-ペンタンジオール	-	-	-	-	5.000	-	-	-	-	3.000
美白効果	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△

10

【0072】

表4および5に示されるように、二種以上の美白成分を含有する化粧品は、一種の美白成分を含有する化粧品に比べて、色素沈着がほとんど目立たなくなった割合が高く、優れた美白効果を発揮することが認められる。また、多価アルコールである、1,3-プロパンジオールまたは1,2-ペンタンジオールを配合した化粧品は、さらに優れた美白効果を発揮することが認められる。

【0073】

以下、美白ローション(処方例1)、美白乳液(処方例2)、美白クリーム(処方例3)、サンスクリーンクリーム(処方例4)、リキッドファンデーション(シェイクウェルタイプ)(処方例5)、洗顔クリーム(処方例6)、整髪トニック(処方例7)、ボディローション(処方例8)、口紅(処方例9)、バスエッセンス(処方例10)、美白オイル(処方例11)の各配合組成、製法を示す。本発明はこれらに限定されるわけではない。

20

処方例1~11についても、上記試験方法により美白試験を行った。その結果、いずれも評価は「 Δ 」であった。

【0074】

処方例1(美白ローション)

表6に示すA欄に属する原料を70に加熱し、完全溶解した後、B欄に属する原料と混合し、美白ローション(pH:6.5)を得た。

30

【表 6】

	成分名	重量%
A	2-エチルーヘキサン酸2-(2-エチルーヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.5
	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	0.2
	エタノール	4.0
B	精製水	残余
	1, 2-ペンタンジオール	5.0
	1, 3-ブチレングリコール	5.0
	防腐剤	適量
	pH調整剤	適量
	PEG20000	0.2
	アルブチン	3.0
	L-アルギニン	0.2
	PCA-Na	0.2
	EMプロテイン-L ^{*2}	0.5
チトカタライザーW ^{*3}	0.6	

10

20

* 2 加水分解卵隔膜水溶液 (キューピー社製)

* 3 酵母エキス (山川貿易社製)

【0075】

処方例 2 (美白乳液)

表 7 に示す A 欄に属する油相部の原料及び B 欄に属する水相部の原料をそれぞれ 80 に加熱し、完全溶解した後、油相部を水相部に混合し、乳化機にて乳化処理した。次いで、乳化物を 30 まで冷却し、美白乳液 (pH : 5.5) を得た。

【表 7】

	成分名	重量%
A	ワセリン	1.0
	流動パラフィン	2.0
	POE (20) オレイン酸	0.5
	2-エチルーヘキサン酸2-(2-エチルーヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	1.0
	オレイン酸グリセリル (グリセリンモノオレート)	1.0
	ジカプリン酸ネオペンチルグリコール	1.0
	防腐剤	適量
	香料	0.1
B	精製水	残余
	1, 3-プロパンジオール	5.0
	1, 2-ペンタンジオール	5.0
	アルブチン	1.0
	L-アスコルビン酸リン酸エステルマグネシウム	1.0
	L-アルギニン (1%) 水溶液	11.5
pH調整剤	適量	

30

40

【0076】

処方例 3 (美白クリーム)

50

表 8 に示す A 欄に属する油相部の原料及び B 欄に属する水相部の原料をそれぞれ 8 0 に加熱し、完全溶解した後、油相部を水相部に混合し、乳化機にて乳化処理した。乳化物を 3 0 まで冷却し、美白クリーム (p H : 7 . 0) を得た。

【表 8】

	成分名	重量%
A	ミリスチン酸	10.0
	ラウリン酸	5.0
	ベヘニルアルコール	4.0
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	5.0
	フェニルエチルレゾルシノール	0.5
	N-ステアロイル-L-グルタミン酸ジナトリウム	8.0
	ラウリン酸ジエタノールアミド	5.0
	ジステアリン酸ポリエチレングリコール	3.0
B	精製水	残余
	1, 3-プロパンジオール	5.0
	1, 3-ブチレングリコール	6.0
	防腐剤	適量
	水酸化カリウム	5.0
	アルブチン	1.0

10

20

【 0 0 7 7 】

処方例 4 (サンスクリーンクリーム)

表 9 に示す A 欄に属する油相部の原料及び B 欄に属する水相部の原料をそれぞれ 7 5 に加熱し、完全溶解した後、油相部を水相部に混合し、乳化機にて乳化処理した。次いで、乳化物を 3 0 まで冷却し、サンスクリーンクリーム (p H : 6 . 0) を得た。

【表 9】

	成分名	重量%
A	セスキオレイン酸ソルビタン	2.5
	ポリエーテル変性シリコーン	2.0
	マイクロクリスタリンワックス	4.0
	イソノナン酸イソトリデシル	4.0
	メチルフェニルポリシロキサン	6.0
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	2.0
	ジパラメトキシケイ酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリル	7.0
	トリオクタン酸グリセリル	8.0
	有機変性ベントナイトゲル	6.0
	粉体部	20.0
B	精製水	残余
	1, 3-プロパンジオール	5.0
	アルブチン	3.0
	L-アスコルビン酸リン酸エステルマグネシウム	2.0
	防腐剤	適量
	pH調整剤	適量
	L-アルギニン	0.25
塩化ナトリウム	1.0	

10

20

【0078】

処方例 5〔リキッドファンデーション(シェイクウェルタイプ)〕

表 10 に示す A 欄に属する油相部を 60 まで加熱し、その後室温まで冷却した。ここへ B 欄に属する水相部の原料を室温で混合し、乳化機で乳化処理し、シェイクウェルタイプのリキッドファンデーションを得た。

30

【表 10】

	成分名	重量%
A	セスキオレイン酸ソルビタン	0.5
	ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体	1.0
	ヒドロキシステアリン酸コレステリル	0.2
	テトラ 2-エチルヘキサン酸ペンタエリスリット	1.0
	植物性スクワラン	2.0
	ジカプリン酸ネオペンチルグリコール	2.0
	2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	1.5
	テトライソパルミチン酸アスコルビル	2.0
	メチルフェニルポリシロキサン	2.0
	デカメチルシクロペンタシロキサン	10.0
	架橋型メチルポリシロキサン/デカメチルシクロペンタシロキサン	1.5
	メチルポリシロキサン	25.0
	着色顔料部	22.0
B	精製水	残余
	1, 3-プロパンジオール	5.0
	濃グリセリン	1.0
	防腐剤	適量
	アルブチン	2.0
	塩化ナトリウム	0.8
	L-アルギニン	0.3
	pH調整剤	適量

10

20

【0079】

処方例 6〔洗顔クリーム〕

30

表 11 に示す A 欄に属する原料及び B 欄に属する水相部の原料を 85 に加熱し、溶解した後、水相部をゆっくりと油相部に混合し、その後良く攪拌した後、30 まで冷却し、洗顔クリーム (pH : 8.0) を得た。

【表 1 1】

	成分名	重量%
A	ミリスチン酸	10.0
	ラウリン酸	5.0
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.7
	ベヘニルアルコール	4.0
	グリセリン	5.0
	1, 3-ブチレングリコール	12.0
	N-ステアロイル-L-グルタミン酸ジナトリウム	8.0
	ラウリン酸ジエタノールアミド	5.0
	ジステアリン酸ポリエチレングリコール	3.0
B	精製水	残余
	防腐剤	適量
	水酸化カリウム	5.0
	pH調整剤	適量
	アルブチン	1.0
	ブタ胎盤抽出物	5.0
	クレワットDP-80	0.6

10

20

【0080】

処方例7〔整髪トニック〕

表12に示すA欄に属する原料を室温にて溶解した後、B欄に属する原料を加えて整髪トニックを得た。

【表 1 2】

	成分名	重量%
A	PCAイソステアリン酸グリセレス-25	6.0
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	0.1
	エタノール	50.0
	メントール	0.3
	カンフル	0.05
B	精製水	残余
	1, 2-ペンタンジオール	3.0
	PCA-Na	2.0
	防腐剤	適量
	コウジ酸	0.3
	pH調整剤	適量

30

40

【0081】

処方例8〔ボディローション〕

表13に示すA欄に属する油相部の原料及びB欄に属する水相部の原料をそれぞれ80に加熱し、完全溶解した後、油相部を水相部に混合し、乳化機にて乳化処理した。乳化物を30まで冷却し、ボディローション(pH:6.5)を得た。

【表 1 3】

	成分名	重量%
A	ラウロイルグルタミン酸ジ（フィトステリル／オクチルドデシル）	1.5
	イソノナン酸イソトリデシル	1.5
	ゴマ油	1.5
	ホホバ油	1.5
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	2.0
	ジメチコン	1.0
	セテアリルアルコール	3.0
	ステアリン酸グリコール	1.0
	ステアリン酸グリセリル	1.0
	ステアリン酸PEG-100	1.0
	トコフェロール	0.05
B	精製水	残余
	1,3-プロパンジオール	3.0
	防腐剤	適量
	EDTA-2Na	0.15
	グリセリン	10.0
	キサンタンガム（1%水溶液）	10.0
	カルボマー（1%水溶液）	10.0
	水酸化カリウム（2%水溶液）	適量
L-アスコルビン酸リン酸エステルマグネシウム	2.0	

10

20

【0082】

処方例9〔口紅〕

表14に示すA欄に属する油相部を90まで加熱し、B欄及びC欄に属する原料を加え均一に分散させた。その後流し型に充填し、冷却後容器に装填して口紅を得た。

30

【表 1 4】

	成分名	重量%
A	ポリエチレン	3.0
	トリエチルヘキサノイン	15.0
	キャンデリラロウ	1.0
	パラフィン	7.0
	マイクロクリスタリンワックス	6.0
	水添ポリイソブテン	12.0
	2-エチル-ヘキサン酸2-(2-エチル-ヘキサノイルオキシ)- シクロヘキシルエステル	3.0
	ジパルミチン酸アスコルビル	2.0
	フェニルエチルレゾルシノール	0.1
	ヘキサ(ヒドロキシステアリン酸/ステアリン酸/ロジン酸) ジペンタエリスリチル	5.0
	イソノナン酸イソトリデシル	10.0
	トリスステアリン酸トリメチロールプロパン	残余
	トコフェロール	適量
B	酸化チタン・マイカ・シリカ	4.0
	マイカ・酸化チタン	2.0
C	赤色201号	0.3
	赤色202号	0.5
	トラネキサム酸	2.0
	酸化鉄	0.7
	酸化チタン	1.0
	トリスステアリン酸ポリグリセリル-2	3.0

10

20

【0083】

処方例 10〔バスエッセンス〕

30

表 1 5 に示す A 欄に属する原料を加熱し溶解させた。B 欄に属する原料及 C 欄に属する原料を室温にて溶解させた。その後、A 欄、B 欄及び C 欄に属する原料を混合しバスエッセンスを得た。

【表 15】

	成分名	重量%
A	ミネラルオイル	40.0
	ヒマワリ油	10.0
	エチルヘキサン酸セチル	8.0
	ミリストイルメチルアミノプロピオン酸ヘキシルデシル	3.0
	ミリスチルアルコール	0.5
	イソステアリン酸	0.5
B	香料	1.0
	2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	7.0
	ジイソステアリン酸PEG-10グリセリル	10.0
	ジイソステアリン酸PEG-8	1.5
C	イソステアリン酸PEG-20グリセリル	2.0
	1,2-ペンタンジオール	3.0
	メチルグルセス-10	0.5
	精製水	残余
	プラセンタエキス	3.0
	コウジ酸	4.0

10

20

【0084】

処方例 11〔美白オイル〕

表 16 に示す A 欄に属する原料を 70 にて加温溶解した後、室温まで冷却し、美白オイルを得た。

【表 16】

	成分名	重量%
A	スクワラン	57.0
	オリーブ油	10.8
	ジカプリン酸ネオペンチルグリコール	20
	2-エチルヘキサン酸2-(2-エチルヘキサノイルオキシ)-シクロヘキシルエステル	10
	テトライソパルミチン酸アスコルビル	2.0
	フェニルエチルレゾルシノール	1.0
	防腐剤	適量

30

【0085】

(保存安定性試験)

処方例 1 ~ 11 の本発明化粧料をそれぞれ 70 mL マヨネーズ瓶に小分けし、40 及び 50 恒温槽内で 14 日間保存した際の色および臭いの変化を化粧品の研究に従事する 5 名により判定した。色および臭いを以下の評価基準に従い評価した。

40

【0086】

(評価基準：色)

：変化なし。

：ごくわずかに変色。

：やや変色。

×：強く変色。

【0087】

(評価基準：臭い)

50

：変化なし。

：ごくわずかに異臭。

：やや異臭。

×：強く異臭。

【 0 0 8 8 】

4 0 及び 5 0 で保存した場合の保存安定性試験の結果は、処方例 1 ~ 1 1 の全ての
本発明化粧料について、色、臭い共に評価は「 」であった。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.		F I	テーマコード(参考)
A 6 1 K	8/67 (2006.01)	A 6 1 K	8/67
A 6 1 K	8/98 (2006.01)	A 6 1 K	8/98
A 6 1 Q	19/02 (2006.01)	A 6 1 Q	19/02
A 6 1 Q	19/10 (2006.01)	A 6 1 Q	19/10
A 6 1 Q	5/00 (2006.01)	A 6 1 Q	5/00
A 6 1 Q	1/00 (2006.01)	A 6 1 Q	1/00
A 6 1 Q	17/00 (2006.01)	A 6 1 Q	17/00
A 6 1 Q	1/04 (2006.01)	A 6 1 Q	1/04

(74)代理人 100106518

弁理士 松谷 道子

(74)代理人 100146259

弁理士 橋本 諭志

(74)代理人 100156155

弁理士 水原 正弘

(72)発明者 ヤン・ジェチャン

大韓民国ソウル特別市廣津区九宜洞 6 3 1 - 1 ウォンキソバイオ・カンパニー・リミテッド内

(72)発明者 イ・ジョンハン

大韓民国ソウル特別市廣津区九宜洞 6 3 1 - 1 ウォンキソバイオ・カンパニー・リミテッド内

(72)発明者 門 隆之

大阪府大阪市中央区道修町 1 丁目 7 番 1 1 号 岩瀬コスファ株式会社内

F ターム(参考) 4C083 AA032 AA072 AA122 AB172 AB232 AB242 AB332 AB432 AB442 AC012
 AC022 AC072 AC102 AC112 AC122 AC242 AC252 AC352 AC391 AC392
 AC402 AC422 AC432 AC442 AC471 AC472 AC532 AC582 AC612 AC622
 AC642 AC662 AC792 AC841 AC842 AD012 AD022 AD042 AD092 AD152
 AD162 AD172 AD352 AD391 AD392 AD492 AD532 AD641 AD642 AD662
 CC03 CC11 CC13 CC19 CC23 CC24 CC25 EE16